

黄金町まちづくりニュース

vol.129 2020年9月号

初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会からのお知らせ

News:1 黄金町バザール2020 -アーティストとコミュニティ 9/11からいよいよ開幕！

当協議会と黄金町エリアマネジメントセンターが主催するアートフェスティバル「黄金町バザール」。今年は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら二部に分けて開催します。第1部は黄金町を拠点に活動するアーティスト42組、第2部は国内外のゲストアーティスト9組が、黄金町の「まち」を舞台に作品を展示します。黄金町バザールは「アート」と「まち」双方の魅力を伝えるイベントです。遠くへのお出かけが難しい今だからこそ、ホームタウンを楽しみませんか？

会期 | 第1部：2020年9月11日(金)～10月11日(日)
第2部：2020年11月6日(金)～11月29日(日)

休場日 | 木曜日(10/8を除く)

時間 | 11:00～19:00

入場料 | <一般>1,000円(学生割引なし)
<高校生以下>無料

日ノ出町駅、黄金町駅発着の定期券をお持ちの方が対象のチケット割引や、「ココハマトリエナーレ2020」、「BANKART Life VI」をお得に楽しむことができる「横浜アート巡回チケット」も是非ご利用ください。詳しくはWEBサイトをチェック！



写真 大介、執筆、2019-2020 photo by Ujin Matsuo

地域の方は無料です！

初黄町、黄金町、日ノ出町、赤門町1丁目、美町に在住、在勤、在学の方は無料で観覧をご覧いただけます。ご来場の際は、インフォメーション(日ノ出スタジオまたは黄金スタジオ)にお越しください。
※免許証等、ご住所が確認できるものをご提示ください。

News:2 LINEでの情報発信はじめます！

当協議会の情報をお届けする「Kogane-X LINEアカウント」ができました！
定例会や防犯パトロールなど協議会の活動やまちの情報を配信していきます。

登録はこちら



Kogane-X
LINE @koganex

©Kogane-X(コガネックス)とは、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会の愛称です。

News:3 9・10月の活動スケジュール

初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 定例会

日時 | 9月24日(木)、10月22日(木) 10:00～12:00
会場 | 高架下スタジオSite-D集会場(黄金町1-2先)

防犯パトロール

日時 | 9月27日(日)、10月27日(火) 15:00～16:00
集合場所 | 黄金町交番前(黄金町2-7-1)

<<新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください>>

- ・熱がある等体調の悪い方は参加をお控えください。
- ・ご参加の際はマスクの着用をお願いします。

初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会の活動レポート

8月16日(日)「どこでも打ち水大作戦！！」を実施しました！

毎年8月に当協議会が開催している「打ち水大作戦」。「日ノ出湧水」を活用し、夏の涼を味わう8月恒例のイベントです。今年も、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響でイベントの中止が多くなっている状況をふまえながら、中でも実施できる方法を検討しました。そこで考案した「どこでも打ち水大作戦！！」では、みんなで大岡川プロムナードへ水を撒くこれまでのやり方を、日ノ出湧水の水を持ち帰り好きな場所で水を撒くスタイルに変更。各自打ち水を楽しむ写真を募集しました。



集まった写真はスライドショーとして編集し、「Kogane-X公式 LINEアカウント(4P参照)」で配信！集まった写真の一部を紹介します。当協議会では、今後もコロナ禍の状況を随時把握しながら、感染症対策に最大限配慮した方法で、防犯パトロールや黄金町バザールの実施に取り組んでいきます。



当日は猛暑でしたが、湧水前で水鉄砲とバケツと軟葉子がセットになった「打ち水セット」を受け取った子どもたちは、遠征な距離を保ちつつ、水遊びを楽しんでいました。長い自粛生活の中、微笑ましいひと時でした。

塚田泰久(日ノ出町町内会地域通信員)

今年の夏はラジオ体操、お祭りや夜店も中止になり、みなさんと会う機会が少なく、寂しく感じていましたが、今回たくさんの親子が参加してくださり、子どもたちの笑顔を見ることができて嬉しかったです。当日は初黄町内会館の前でもホースで水のトンネルを作って打ち水を楽しみました。みなさん残暑にも気をつけて！！

秋成由美子(初黄町町内会地域通信員)

昨年実施したかさ水や流し湯、乗船体験はできませんでしたが、子どもから大人までいっぱいの笑顔と親子のふれあいを見ることができ、イベントは縮小しても行っていたいかなければならないと感じていました。コロナと悪さに負けないで、また次のイベントでお目にかかりましょう。

井田松太郎(赤門町町内会地域通信員)

編集後記

コロナ禍における新しい生活様式が始まって早や6か月、仕事も飲み会もウェブリモートが定着した。恒例の打ち水も初のリモート開催。好きな場所で猛暑を冷やす様子をシェアできた。いつもとは違う形で笑った気がする。9月は防災、そしてバザールのシーズン。ここにも新しい発見があるはず。

高島美保(黄金町まちづくりニュース編集長)

黄金町まちづくりニュース vol.129

発行：初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会
(黄金町エリアマネジメントセンター内)
〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4先
高架下スタジオSite-B
Tel: 045-261-5467 Fax: 045-325-7222
E-mail: info@koganecho.net

初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会とは？

2003年11月、横浜市中区の初黄町内会、日ノ出町町内会、東小学校PTA等により設立された団体です。「安全・安心のまちづくり」の実現に向けて、警察、行政、周辺地域や大学、企業、アーティスト、NPO等と連携し、「防犯」「防災」「賑わい」の3つを柱に「まちづくり推進部会」「浄化推進部会」「広報イベント部会」「地域商業推進部会」の4つの部会で活動を展開しています。

散歩しながら楽しむ黄金町のアート鑑賞「ウィンドウ・ギャラリー・プロジェクト」

これまでも京急線高架下周辺のアトリエを中心にちらほらと点在していた「ウィンドウ・ギャラリー」。今年度に入り、ウィンドウ・ギャラリーの設置場所が少しずつ増えていることにお気づきでしょうか？ まちづくりニュースを制作している広報イベント部会のメンバーで黄金町エリアを散歩しながら、現在18組のアーティストが作品を展示するウィンドウ・ギャラリーを送ってみました。鑑賞中、特に気になった作品2点をピックアップし、アーティストにインタビューを実施。

Window Gallery Project

ウィンドウ・ギャラリー・プロジェクトとは？

ウィンドウ・ギャラリーとは、アーティストが入居するスタジオの窓に設置された小さな展示空間のこと。このまちにどんなアーティストがいるのか、どんな作品が作られているのかを紹介しています。黄金町パザールの開催期間だけでなく、年間を通してウィンドウ展示を続け、歩くだけで新しい発見のある「アートのまち黄金町」を目指します。



2019年の終わりに個展を開催したメリノさんのウィンドウ。メンバー内でも馴染みのアーティストです。繊細な絵を前にしばらく立ち見ました。

黄金町パザール2018に参加していたスピーク・クリプティックさんのウィンドウ。一緒に写真を撮っても美しい大きな作品。

2017年から設置している、伊藤隆介さんのウィンドウ。「こんなに笑っている作品。ずっとここにあったんだっけ？」とメンバー一同、ゆっくりと動く不思議な空間を改めて眺めました。

フレズコ画を描く肥沼守さんのウィンドウ。犬を飼っているメンバーのお気に入りです。

お茶にまつわる作品を制作する安部寿紗さんは、日ノ出湧水の水を使ってお茶を育てています。高架下周辺にはいくつかお茶の栽培スポットがあるので探してみてください！

参加アーティスト

(2020.8.31時点)

- | | |
|--------------|-----------|
| 安部 寿紗 | 千々和 佑樹 |
| 伊藤 隆介 | 寺島 大介 |
| 岡田 光生 | 中谷 ミチコ |
| キム・ガウン | 東地 雄一郎 |
| 肥沼 守 | 本間 純 |
| ごとうなみ | メリノ |
| 近 あつき | 山本 貴美子 |
| さんにん工房 | 吉本 直紀 |
| スピーク・クリプティック | ローランス・ベンツ |

Pick up 千々和 佑樹さん



くうつろ > 2014
模造、アクリル板

広報イベント部会 | ほんやり佇む人形たち、かわいいですね。
千々和さん | 学生の頃初めて「作品を作る」ということを意識して制作した、陶器の人形を型取りして複製したものです。普段、絵画と立体がセットの作品を作っています。その立体がこの人形であることも、また、この人形を絵画で描いていることもあります。この人形には特別な意味はなくて、当時陶器で作ったこいつらは、自分が作ろうと思って作っているというよりは、作られた感覚で制作していました。

広報イベント部会 | 千々和さんは「14」をきっかけに作品を制作していると聞いたのですが、14とは？
千々和さん | 子どもの頃の好きな野球選手の背番号が14番でした。「14」はただの作品制作のきっかけで、作品ごとにそれぞれ意味があります。今、黄金町パザールの展示場所を施工していて、そこに厚さ14cmの壁を立てました。一見作品とは関係のない、設入の部分にも14が隠れていて、それは自分のテンションを上げる、14だからうまくいく、みたいな、モチベーションの糧であったりします。

Pick up 東地 雄一郎さん



左 | <A=A A=A mountain > 2017
 右 | <A=A A=A building > 2019
 共にコピー用紙にXEROXPrint

広報イベント部会 | 紙が積み重なって奥になっていますがこれはどういった作品なんだろう…？
東地さん | 1枚の写真を2000回繰り返しコピーした作品を制作しています。写真のコピーには、世界初のコピー機を作ったゼロックス社のコピー機を使用しています。

1回のコピーで起こる、みえない微小な現象も回数を重ねることで強化されいき、次第に目視で確認できるようになります。コピーとは、同じものをもう1つつくことですが、コピー機への期待はそうではない。「コピーの意味」と「コピーへの期待」にはズレがあり、日常的に行っているコピーとはなにか？、この作品をみた後にみなさんが生活の中でふと疑問に思うことが出てきて欲しいな、と考えています。

これまで、版画や写真作品がオリジナルプリントであることを宣言する必要があったことに違和感を持っていました。私は美術作品としては同じものが複数存在することは否定的ですが、コピーを題材とした作品の中ではそれを肯定的に扱うことができます。